

関連する政策文書等について

第 5 期科学技術基本計画（平成 2 8 年 1 月 2 2 日閣議決定）（抜粋）

（中略）

加えて、客観的根拠に基づく政策の企画立案、評価、政策への反映等を進める。このため、経済・社会の有り得る将来展開などを客観的根拠に基づき体系的に観察・分析する仕組みの導入や、政策効果を評価・分析するためのデータ及び情報の体系的整備、指標及びツールの開発等を推進する。公募型資金については、府省共通研究開発管理システムへの登録の徹底や、当該システムと資金配分機関のデータベースとの連携を進めつつ、総合科学技術・イノベーション会議及び関係府省は、公募型資金に対する評価・分析を行い、その結果を資金配分機関やステークホルダーに提供する。

科学技術イノベーション総合戦略 2016（平成 2 8 年 5 月 2 4 日閣議決定）（抜粋）

- ・我が国の科学技術イノベーションの状況を把握するために必要な情報の収集について検討を深め、必要に応じて人材、資金、制度、技術の動向等の新たな情報を収集することも含め、より幅広い情報の収集・分析機能や戦略立案機能を強化するとともに、シンクタンク連携等を通じたエビデンスに基づく政策形成を推進する。

【内閣府、文部科学省、関係府省】

- ・公募型資金について、各配分機関は府省共通研究開発管理システム（e-Rad）への登録を徹底し、年度終了後、総合科学技術イノベーション会議に対して遅滞なくデータを提供する。

【内閣府、文部科学省、関係府省】

- ・資金配分機関のシステム連携、データ共有等を推進するとともに、異なるデータベース間のデータ結合により公募型資金のインプットに対するアウトプット、アウトカム情報の紐づけを実現するための検討を進める。

【内閣府、文部科学省、関係府省】

科学技術イノベーション官民投資拡大イニシアティブ〈最終報告〉（平成 2 8 年 1 2 月 2 1 日経済社会・科学技術イノベーション活性化委員会）

（3）アクション 3：エビデンスに基づく効果的な官民研究開発投資拡大アクション

（中略）

CSTI は、国家戦略の司令塔としてインテリジェンス機能を高める必要がある。科学技術イノベーションに関するインプットからアウトプット、アウトカムに至る情報を体系的に収集・相互に接続するとともに、重要な政策課題に関するエビデンスを構築し、政策形成において活用する。このため、関係府省庁の局長級によって構成する「客観的根拠に基づく政策推進に向けた関係府省連絡会議」の場を通じて関係省庁と密接に連携・協力し、国民への情報提供の視点に配慮しつつ、時間軸を明確にして以下の取組を行う。

【俯瞰的なデータの収集及びエビデンスの構築】

科学技術基本計画、科学技術イノベーション総合戦略等の PDCA 構築に必要な情報について、関係府省・機関と連携し、既存の取組を活用しつつ、収集・共有・分析するとともに、俯瞰的な形で整備する。